

研究課題名「3次元画像解析システムボリュームアナライザーを用いた気管支鏡生検後の呼吸器感染症合併のリスク因子に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2009年9月1日～2017年8月31日に当院で肺癌診断目的の気管支鏡検査を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

①研究目的

気管支鏡は肺癌の診断やステージングに必要不可欠な検査です。その安全性は高いですが、稀に肺炎などの呼吸器感染症を検査後に合併することがあります。一旦感染症を併発するとその治療に難渋することが多く、治療の遅れや変更を余儀なくされる場合も少なくありません。本研究の目的は気管支鏡検査後の呼吸器感染合併症と3次元画像解析システムボリュームアナライザーを用いた腫瘍内の低吸収域との関連について解析することです。

②方法

電子カルテ・データベースを用いて当院で2009年9月1日から2017年8月31日までの間に気管支鏡下の生検を行い最終的に肺癌と診断された患者さん1098人のうち、感染症を合併した35例と感染を合併しなかった方から背景やリスク因子により抽出された35例について、気管支鏡検査や画像検査などのデータを比較検討します。

③研究期間は承認日から2022年3月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、血液や画像検査、気管支鏡検査内容、副作用等の発生状況、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科

研究責任者：岡地 祥太郎

466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL：052-744-2167